

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 298-0104
住 所 千葉県いすみ市松丸1240
法人名 日宝化学株式会社 千町工場
代表者 藤平 治久
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0470-86-2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日宝化学株式会社 千町工場		
事業場の所在地	千葉県いすみ市松丸 1 2 4 0		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	製造業	中分類： 化学工業
②事業の規模	前年度の製造品の出荷額 7 4 億 7 9 0 4 万円		
③従業員数	1 7 0 名		
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙(処理工程)を参照		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙(管理体制)を参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	312.59 t	16.05 t
	(これまでに実施した取組) 1) 処理方法を見直し、廃アルカリの排出量を削減した 2) 廃油の一部を燃料として販売した 3) 製造工程を改良し、汚泥の発生量を削減した 4) 廃棄物原単位の高い製品について、処理方法の見直しや製造工程を改良した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	366 t	10.1 t
	(今後実施する予定の取組) 1) 廃棄物排出抑制・再生方法に関する情報に収集に努める 2) 処理方法の見直しや製造工程の改良を推進する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1) 産業廃棄物は製造工程からの排出時に種類ごとに分別している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1) 今後も分別の取り組みを継続する		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.78 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	1）従来委託焼却処分していた廃アルカリを自己再生利用した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
	1）ホウ素廃棄物(汚泥)からのホウ素を回収し再生する方法について情報収集に努める 2）処理方法の見直しや製造工程の改良を推進する		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0.29 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	3 t
	（今後実施する予定の取組）		
1）熱回収する予定はないが、情報収集に努める 2）現在使用している廃油焼却設備を適切に維持管理し、廃棄物の減量化に努める			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	1）自社で埋め立て処分や海洋投入処分は実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
	1）自社での埋め立て処分や海洋投入処分の予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	311.81 t	15.76 t
	優良認定処理業者への処理委託量	311.81 t	15.76 t
	再生利用業者への処理委託量	145.04 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	7.22 t	15.76 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	53.03 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	1）汚泥の一部をセメント原料として再資源化した 2）廃プラスチック類(PVC配管)の一部を再資源化した 3）がれき類・コンクリートくずの一部を路盤材として再資源化した 4）ガラスくずの一部を再資源化した 5）廃プラスチック類の一部をRPF燃料として再資源化した		

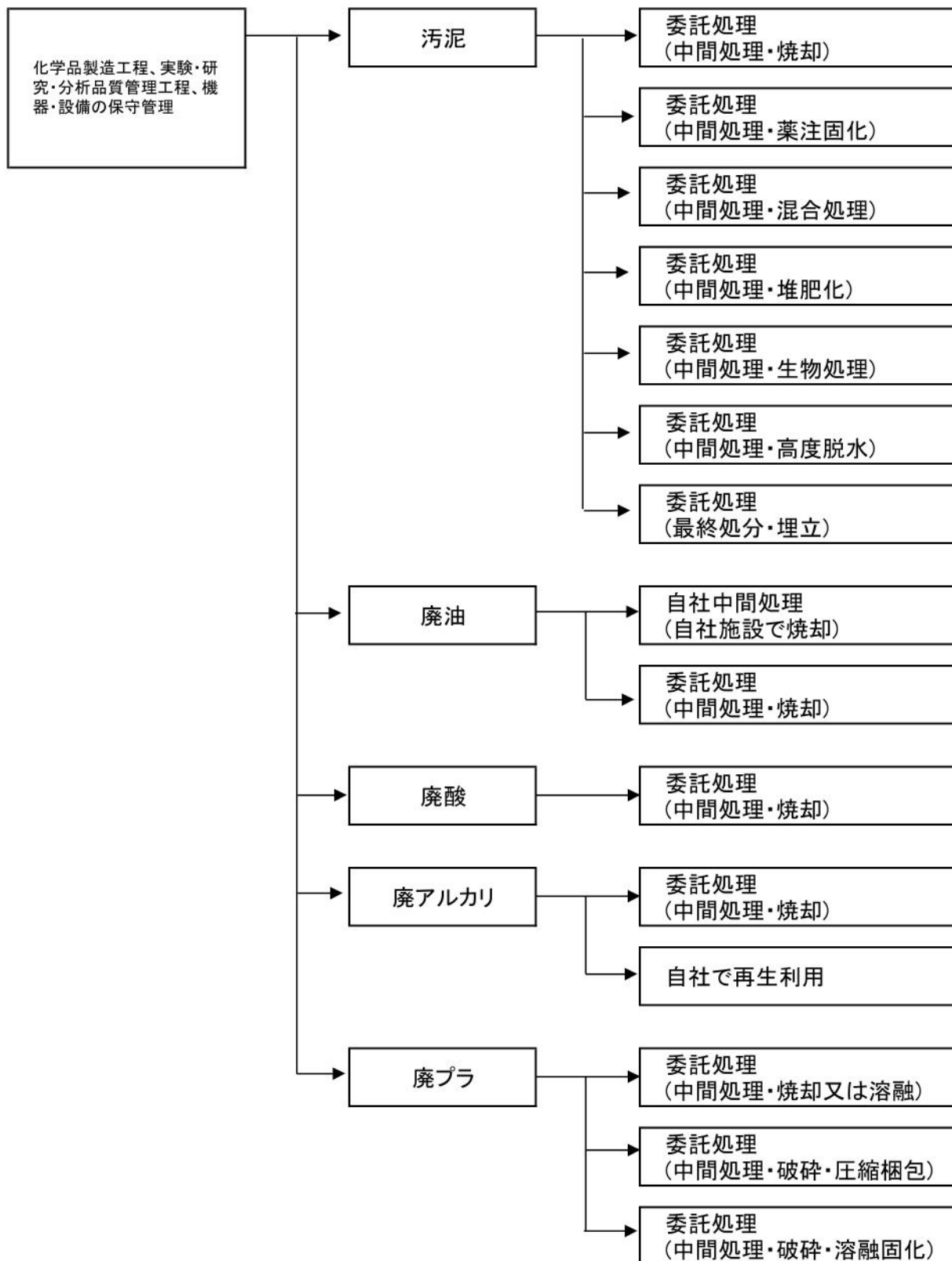
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	366 t	7.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	326 t	7.1 t
	再生利用業者への処理委託量	290 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	16 t	7.1 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 1) 優良認定処理業者及び認定熱回収業者に関する情報収集に努める 2) 再生処分業者への排出割合を必要に応じて増やす 3) 再生利用業者に関する情報収集に努める 4) 焼却後の廃棄物を再生する業者の利用を検討し、埋め立て処分量を削減する		
	※事務処理欄		

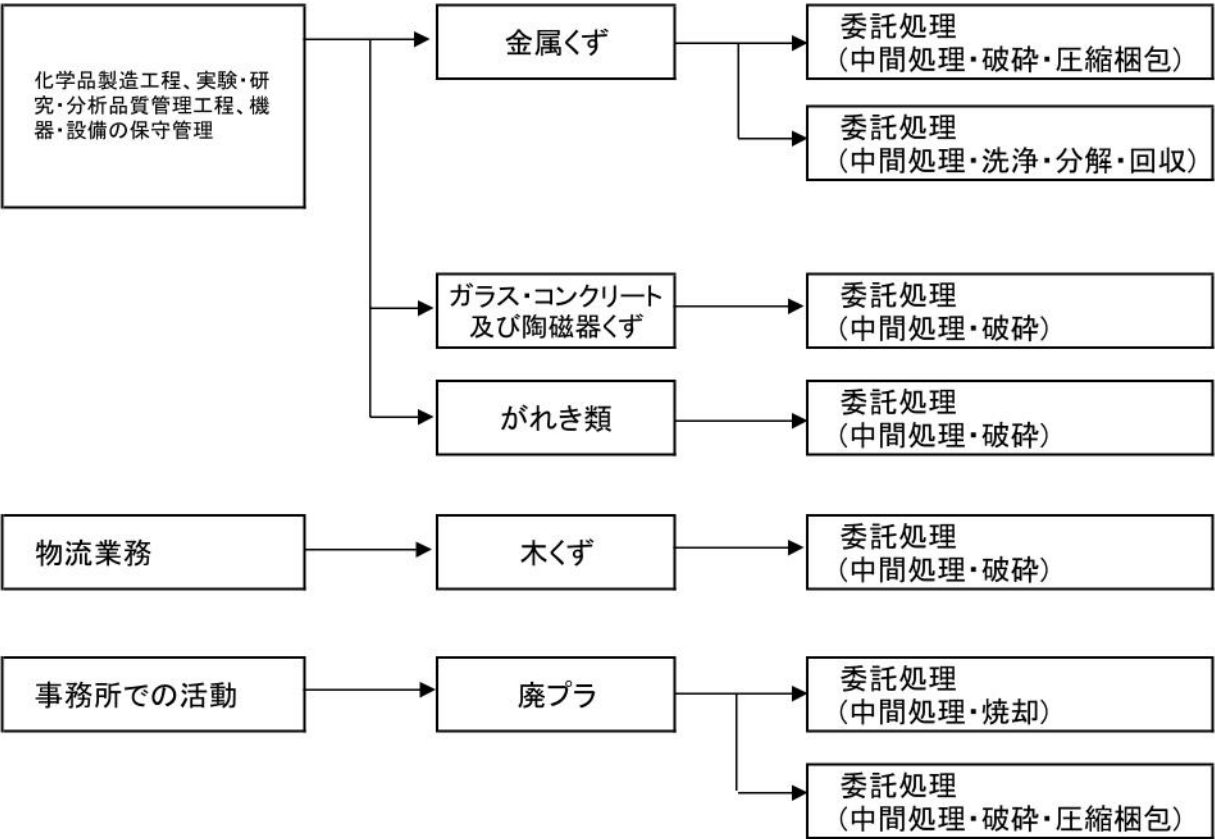
(第6面)

備考

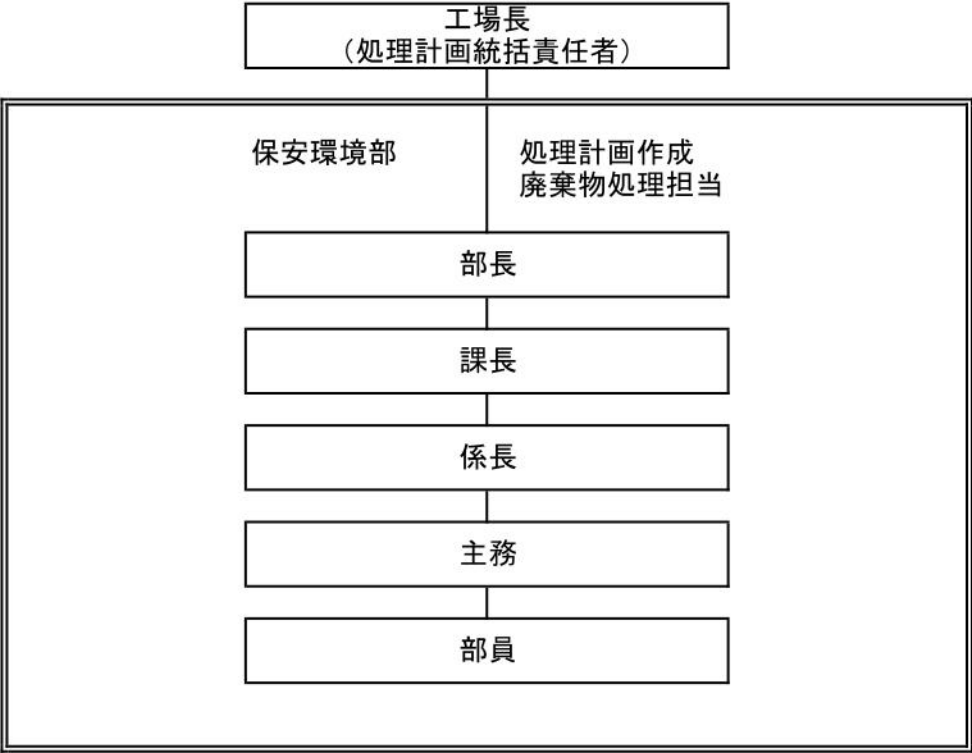
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙(処理工程)





別紙(処理工程)



セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]